

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2006. 12. 10 No. 8

北海道ボランティア・レンジャー協議会

冬の森のメッセージ

冬の森の中は静まりかえり、ときおり森の奥から野鳥の鳴き声が聞こえてきます。林床も雪に覆われていて何もないようですが、よく見ると色々と観察することができます。

◆野草等

雪の上に顔をだしている立枯れの穂先に種子が残っています。種によって、その穂先の形の違いがよくわかります。また、穂先を振ってみると種子がでてきます。種子の大きさ・形を比べてみるのもおもしろいでしょう。

- ・キンミズヒキ ・エゾシロネ ・エゾゴマナ ・オオアワダチソウ ・セイタカアワダチソウ
- ・エゾヨモギ ・メマツヨイグサ ・サラシナショウマ
- ・オシダ、イヌガンソク、コウヤワラビの胞子葉

◆樹木等

雪上に樹木の種子が落ちています。白い雪の上なので小さな種子もしっかりと観察できます。

- ・カツラ ・シラカンバやウダイカンバ ・シナノキ ・カエデの仲間

雪の中から常緑の葉をのぞかせている樹木もありますし、樹上にも目をむけてみましょう。

- ・エゾユズリハ ・ツルシキミ ・ヤドリギ（雄株か雌株か観察しましょう）

◆野鳥

冬の森で野鳥に出会うには、その日の天気によって左右されますが、運がよければ思いがけない野鳥に出会うことができます。

- ・シジュウカラ、ゴジュウカラ、ヤマガラ等の混群 ・アカゲラ、コゲラなどのキツツキの仲間
- ・ヒヨドリ ・シメ ・ウソ ・ムクドリ

エゾフクロウについて

大沢コース沿いの大木の樹洞にヒッソリと2羽のエゾフクロウがいます。このニュースが知れ渡ったのか、散策コースを離れ、森の中に踏み跡が幾つもついています。公園内には3つの約束がありその一つに「散策路から外れない」があります。近くで見たいがため、コースをはずれることは、マナー違反です。

観察会情報

●円山登山観察会 1月14日(日) 10:00~12:30 円山大師堂登山口 集合

冬の間は、どうしても運動不足になりがちです。運動不足解消を兼ねた観察会です。樹木の冬芽の観察ができます。また、シジュウカラ、ゴジュウカラなどカラの仲間やウソなどの野鳥、エゾリスの可愛い姿も見られるかもしれません。頂上からは札幌の町並みや遠くに夕張岳が望めます。下りは円山動物園横にでできます。

エゾフクロウの嘆き

11月29日付けの北海道新聞に「エゾフクロウつがい仲良く」との記事が掲載されていました。冬の時期になると、公園内の何ヵ所かにエゾフクロウの姿が観察できます。その情報が伝わると、たくさんの人々はその姿を見に集まります。そして、時によってはカメラや双眼鏡の放列ができます。たしかに、エゾフクロウの姿やしぐさは可愛くて置物みたいなのですが、視点を変えて、エゾフクロウの気持ちを考えてみましょう。

……ぼくたちはエゾフクロウの雛、兄弟は全部で4羽、巣穴から出て10日目。このごろ人間がうるさくって、ゆっくり寝むられないんだ。空が明るくなり出すと現れて、僕らを探すんだよ。僕らを見つけるとなんだか大きな筒のようなものを僕らに向けてくるんだ。そいつはまあなくて、目玉みたいに光っている。時々カシャカシャと鳴くんだ。僕らはお腹いっぱいになったし、とても眠たいんだけど、どんどん人間が集まって来るんだ。僕らの寝ている木の下で、わいわいガヤガヤうるさいったらありゃしない。時々手をたたいて寝ている僕らを起こすんだ。目を開けると、目玉みたいな筒がこっちを向いていっせいにカシャカシャ鳴くんだ。そういえば、四角い箱からは稲妻も出たりする。怖くはないけれど、あれはちょっとまぶしいなあ。……… (BIRDER 2005.9月号 鳥たちの波瀾万丈より)

多くの鳥は眼は球状をしていますが、フクロウの仲間筒状をしています。これにより、わずかな光りをできるだけ多く取り込むことができます。この結果、人間が見ることのできる光の10分1~100分1の弱い光まで見ることができます。また、聴覚もすぐれていて、耳の位置が左右対象ではなくずれていて、音の方向がよくわかり、さらに顔を縁取る独特の羽はパラボナアンテナの役割をしています。沢山の人の気配をしっかりとエゾフクロウは感じているのですから、ストレスを与えるような観察ではなく、心遣いのある観察をしていきましょう。

冬至

12月22日は冬至です。冬至は太陽の黄経が270度の日で、一年中で一番昼の時間が短い日です。札幌地方の昼の時間は9時間で、夜の時間は15時間ですが、北へいくほど昼の時間がみじかくなり、北極圏から北では一日中太陽が出ない常夜です。

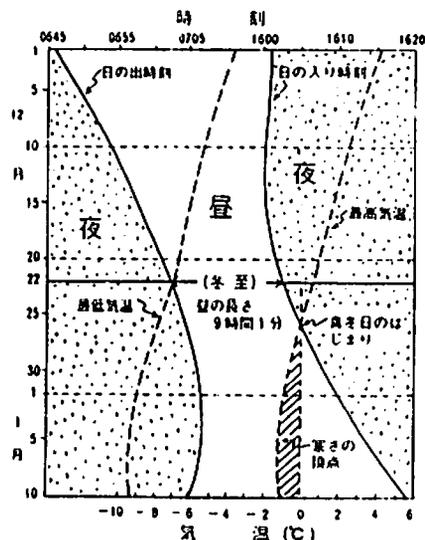
ところで、冬至の日は、一年中で日の出が一番遅く、日の入りが一番早いと思われがちですが、そうではありません。

22日冬至の札幌地方の日の出は7:03で、日の入りは16:03でして、一年中で一番日の出の遅い期間は12月29~1月9日の7:06で日の入りの早い期間は12月4日~12月15日の16:00なのです。

右図を見る通り、日没が最も早いのは12月初旬から中旬にかけてであり、「冬至十日前」とも言いわれています。

昔の人は、この冬至の日を「一陽来福の日」とか「太陽の誕生日」ともいって祝いました。冬至を祝う風習は世界各国にあって、北方民族ほどそれを大事にしています。

この日には冬至カボチャ、冬至コンニャク、冬至ガユ、ユズ湯等の風習がありますが、厳しい冬を乗り切るための行事のようです。



札幌の冬至前後の日の出・日の入り時刻と最高・最低気温(年平均)の変化